しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことがありません。
わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会　ニュースレター

第 166 号（2023 年 12 月号）

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
http://izumichurch.holy.jp/
発行人　宮地　宏一

MERRY CHRISTMAS!

クリスマスおめでとうございます！ 今年もあっという間に 12 月。2023 年、私たち家族にとって一番の出来事は父の死です。ふとした瞬間に父を思い出し、寂しさがこみ上げてきます。父は料理が好きで、時々アップルパイやカレーを作ってくれました。年末になると、魚をすり潰して伊達巻きを作り、年始にはお寿司を握ってくれたのです。どれも美味しく、料理しているときの父は生き生きしていたような気がします。今、私は父を見ならい、料理をします。得意な料理は、餃子です。子どもたちはいつも「お父さんの餃子、美味しい」と言ってくれるのですが、妻はなぜか不満そう。そういえば、私の担当は焼くだけでした、、、笑

今月も皆様とご家庭の上に、神さまからの恵みが豊かに注がれますように。　(2023.12.01)

平和の君として

新聞を読んでいた私の横で子どもたちが破壊されたビルの写真を指して「この写真、何？」と聞いてきました。「戦争で攻撃されたところだよ」「何で戦争しているの？」「自分たちが正しいと思っているからかな？みんなのケンカと一緒。大人たちがケンカをすると戦争になる」「え～」この会話の数分後に、ケンカが勃発･･･

昨年から続いているロシア・ウクライナの戦争、今年 10 月から始まったイスラエル･パレスチナの戦争。連日の報道を見ながら、悲しくなり、無力さを感じるのです。多くの人が平和を望んでいるはずなのに、歴史を通して戦いが止んだことはありません。繁栄と権力を手にするために、世の権力者たちが戦いをはじめ、多くの人々が傷つき、倒れるのです。

しかし、これは他人事ではありません。中高生時代、反抗期だった私は、母との言い争いが絶えませんでした。どちらも引かず、とことんぶつかり合った。でも私はこのことで母と良好（？）な関係を築けたと思っていたのです。

ですから良い人間関係を築くには、とことんぶつかり合うことが大切だと信じていました。ところが妻は、戦う環境で育っていませんでした。そのため私がいくら戦いをふっかけても、思うように乗ってこないのです。それが私には不満でした。

そんなことを何十回と経験するうちに、少しずつ自分のやり方が間違っているのではないかと気づき始めたのです。ですが、戦うことが身体に染みついている私は、すぐにケンカをふっかけてしまいます。ﾅｻｹﾅｲ

先日、新聞のコラムに福岡大学准教授の縄田健悟さんが“私たちは「敵 VS. 味方」という枠組みで世の中を捉えるクセがある”と興味深いことを書いておられたのです。

私たち人間は「我々」と「彼ら」に心理的に線引きを行い、ときに敵とみなした「彼ら」に攻撃します。この心のクセは形を変えながら様々な場面で分断と紛争を引き起こします。

･･･

正義とは敵をやっつけることそのものではありません。私たちは魔王を倒す勇者も、凶悪犯を捕まえるヒーローも大好きで心を躍らせます。しかし、悪を倒すだけで万事解決するのは物語の世界だけ。私たちが目指すのは正義たる価値の実現のはずです。命を救うこと、格差に苦しむことなく豊かで満ち足りた生活を送ること、愛する家族や親しい人の安寧で秩序ある暮らしを守ること。その過程に存在する「敵」の排除は、あくまでも手段であって目的ではありません。頭の中で作り出された「敵」を倒すことばかりが目的化された社会は、常に怒りに満ち溢れたギスギスしたものです。とても幸福とは言い難いのに、今の社会はそこに向かいつつあるようにも思います。

これを避けるために、まずは私たち自身が「敵」を見いだし攻撃する心のクセを自覚し向き合うことが重要です。そして、目の前の「敵」が、価値観や立場は違えども共に同じ社会を生きる「仲間」だと気づき捉え直せば「敵」ではなくなるのです。

【朝日新聞デジタル 2023.11.8「にじいろの議」より】

これ、まさに私のクセです。常に敵か、味方かと線引きしています。そして敵とみなし、自分の価値観と異なることをしている人を見ると「こうすべきなのに、どうしてあの人はあんなことをするのか」と戦闘モードになるのです。妻や子どもたちに対しても、そうです。どうしても自分の価値観を押しつけたくなります。「みんな違って、みんな良い」と言いながら、実際はその逆を行っているのです。このクセに気づいても、中々抜け出せません。

それは私たちの中に「戦う欲望があるからだ」と聖書は語るのです。そんな戦う欲望から私たちを解放してくださるために「**平和の君**」であるイエス様が、今から約2000年前の最初のクリスマスに幼子として、この世に生まれてくださいました。イエス様の時代も今と変わらず、分断と争いに満ちていたのです。敵・味方、善人・悪人がはっきり分かれ、歩み寄ろうとしませんでした。しかしイエス様は悪人と呼ばれ、蔑まれていた人たちの中に入り、彼らと食事をされました。彼らを愛し、友となられたのです。

またイエス様はご自分を敵視し、排除しようとする人々に対して、力を持って対抗し、攻撃されませんでした。彼らを愛し、赦し、彼らのために祈らました。そして黙って十字架に架かって死なれ、三日目によみがえられたのです。このイエス様の愛と赦しによって、この世に平和が訪れました。

しかしながら、今もなお完全な平和は与えられていないのです。それは私たち一人ひとりに神様が委ねてくださっていること。イエス様が徹底的にへりくだり、排除するのではなく愛され、赦されたように、私たちも自分を低くし、人々を愛し、赦す。これは簡単なことではないでしょう。でも諦めず、神様に祈りながら、まず身近な人たちと平和を築き、作り上げることができたら幸いです。

いと高き所で、栄光が神にあるように。
地の上で、平和がみこころに
かなう人々にあるように。

☆ **「クリスマス礼拝」** 12月24日(日)10:30-12:00
ともにクリスマスソングを歌い、イエス様のお誕生をお祝いしましょう。

☆ **「クリスマス・キャンドルサービス」** 12月24日(日)17:00-18:00
ろうそくの明かりの中で、イエス様のお誕生について思い巡らします。

○ 礼　　拝	毎週日曜日 10：30～12：00
○ 祈 祷 会	毎週金曜日 10：30～12：00
○ イズミン・キッズ	毎週日曜日　9：30～10：20
○ おやこ de えほん	毎週水曜日 10：30～13：30
○ Friendly English	毎週木曜日 9：30～11：50（大人向け）